

地区・地域の紹介 神功 じんぐう

1. 住んでよかった神功、

これからも住みたい神功！

これは神功地区自治連合会キャッチコピーです。住みよい地域を作るのは行政だけではなく、住民自身が自らの手で積極的に関わる必要があるとの想いを込めています。

2. 神功の歴史

神功の歴史を振り返ると、早い段階で平城第1団地が出来、その住民用のバス路線（高の原駅～神功4丁目）が開通しました。また団地近く、現在の「丘の小道商店街」に住民の日々の生活用品を販売する「近商ストア平城2号店」が出来ていました。

戸建て住宅は、高の原駅近くから順次開発が進みました。そして最後の大型開発が神功6丁目の大規模マンションです（1999年）。

このような開発の進展に応じて子どもたちの数が増え、1980年には右京小学校の分割で神功小学校が開校しました。6丁目の大規模マンションができた際には、小学生が急増し教室が足りないために神功小の校舎増築が行われました。

そして、2022年には少子化と建物老朽化等を原因として、神功小学校は、右京小、平城西中と共に「ならやま小中学校」に生まれかわりました。

3. 神功地区の行事

・神功秋祭

1991年から神功池公園を利用して秋祭りを開催しています。水神さんといわれている祠に神主さんの祝詞をあげていただくことから始まります。

そして舞台（子どもたちのけん玉・中学生の吹奏楽・市役所パサラチーム八重桜・阿波踊りの大仏連等）模擬店、社協主催の健康チェック、そして楽しみ抽選会などを楽しんでいただいています。子どもが多かった時代には、子どもたちが樽神輿を担いで練り歩いていたようです。

近年来場者が増え1,000名を超え、会場があふれかえるようになっています。

・とんど焼き

2003年から旧神功小学校校庭において、とんど焼きをしています。燃やす竹は前日に神功6丁目緑地から切り出します。コロナ禍前までは、住民が栽培された丸大根の提供を受け大きな鍋で煮て皆様にふるまっていました。

・神功音楽祭

2009年から北部会館をお借りして、北部会館と共催で神功音楽祭を始めました。初回に「ママさんプラスなら」の大演奏を聴かせていただいたこと、また神功小学校の太鼓倶楽部の力強い太鼓マーチを楽しませてもらったことが印象に残っています。平城西中学校の吹奏楽も演奏者が舞台上に収まらない位の人数だったのですが、今は寂しくなりました。その他、高齢者クラブ、公民館自主活動グループの皆様にも出場いただいています。

・神功クイズ大会

テレビでは、視聴者参加のクイズ番組が昔も今も人気を集めています。学生時代にクイズ番組で大活躍された堀家敦さんの全面的支援によって2013年から神功クイズ大会を始めました。問題を作るのは無論堀家さんです。それぞれ問題について正解だけでなく外れも準備する必要があります。約2時間の大会の約1,000の選択肢を考えられているようです。それでも毎年楽しく面倒を見ていただいています。感謝！感謝！

4. 神功地区社協の活動

これまで定番の「ふれあいサロン」「子育てサロン」「神功カフェ」等を開催してきましたが近年はより多くの皆様に地区社協の行事に参加していただけるよう新しい取り組みをするようになりました。例えば神功池公園等を利用した「子ども居場所づくり活動」。この活動には社協会員以外に民生児童委員、PTA、地域教育推進会議メンバー、その他ボランティアの方など多数のメンバーが参加されており地域の

人々が子どもたちを支えるいい体制が出来ていると感じています。

その他、カレー食堂、ミニコンサート、ならの歴史にふれる全9回の講演会、落語会。ラジオ体操人形「ブービー」を高齢者にお配りしたこともありました。地区社協が、地域の皆さまに身近な存在になるよう心掛けてゆく所存です。

5. 防災防犯活動

①防災活動

神功地区は、人口が5千人を超え人と人がつながり、互いに助け合うコミュニティとしては規模が大きすぎるとの考えから、自治会単位で防災訓練や防犯活動がされています。数年前から指定避難所である旧神功小学校を利用した避難所開設訓練を実施しています。地震は何時発生するか分かりません。それに対応するため、出来るだけ事前の準備をしないで訓練をするよう心掛けました。参加者はお客さんではないこと、出来ることは手伝ってもらおうこと、水を持参してもらおうような試みもしました。神功小学校がなくなりましたので、今後は、ならやま小中学校に場所を移して実施することになります。

②防犯活動

神功地区内では、2010年頃から各自治会が作成した防犯啓発チラシが掲示版のみならず各家庭の門扉などに張り出されています。これで十分というわけではありませんが一定の効果はあるようです。しかし、事前の下見をするような空き巣にはお手上げです。道を歩く人に挨拶をすることが大変重要であると言われていいます。街をあげてそれを実行したいものです。

6. 高齢者団体

神功地区においても以前は万年青年クラブが存在しました。しかし、会員数の減少と高齢化のため継続が非常に困難な状況に陥っていました。そこで、万年青年クラブは活動を休止し、単位自治会の範囲で新たな高齢者団体を立ち上げることになりました。神功さわやかクラブ、結の会、絆の会、いきいきクラブ、いちよんクラブです。会員の居住範囲が狭くなったことに

よりお互いの顔が見えやすくなりそれぞれの会が30～50名の会員で歌声サロン、健康マージャン、ハイキング、飲み会等活発に交流されています。

7. 急速な車の普及と駐車場問題

このニュータウンの開発は、日本で急速に個人の車所有が増える歴史と共に進みました。初期にはこれほどまでに車が増えると考えられていませんでした。したがって開発初期に建設された平城第1団地の駐車場が顕著となりました。2005年と2008年地元自治会の要望に基づき合計166台の駐車スペースが新たに開設されることになりました。

